

宇都宮市立陽西中学校 第3学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「朝食を毎日食べていますか」との質問に肯定的回答をした生徒は94.3%で、全国平均を2.4ポイント上回っている。また、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」との質問に肯定的回答をした生徒は93.7%で、全国平均を1.5ポイント上回った。いずれも肯定的回答が9割を超えていることから、大部分の生徒は良好な生活習慣が確立されていると考えられる。引き続き、基本的な生活習慣の確立が学校生活を充実させていくためにも重要であることを折に触れ指導していきたい。

○「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」との質問に「当てはまる」と回答した生徒は52.3%で、全国平均を12.4ポイント上回った。また、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」との質問に「当てはまる」と回答した生徒は41.4%で、全国平均を8.9ポイント上回った。これらのことから、学校で、生徒と教職員との関係はおおむね良好であると考えられる。今後も生徒との信頼関係を大切にして、良好な関係を築いていきたい。

○●「将来の夢や目標を持っていますか」との質問に肯定的回答をした生徒は68.4%で、全国平均を1.1ポイント上回った。一方、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」との質問に肯定的回答をした生徒は83.9%で、全国平均を2.7ポイント下回った。昨年度は2つの質問とも全国平均を下回っていたことを考えると、夢や目標をもって粘り強く取り組める生徒が全国平均に近づいていると言える。今後も、生徒の長所を伸ばし励ましていけるような声掛けをしていく。

●「今住んでいる地域の行事に参加していますか」との質問に肯定的回答をした生徒は21.8%で、全国平均を18.2ポイント下回っている。コロナの影響で地域の行事も中止・縮小傾向にあることが大きいと思われる。今後様々な条件が緩和されることで、地域の行事に参加できる機会も増えていくことと思われるので、地域の方との連携を強め、生徒が積極的に地域の行事に参加できるよう促していく。

●「学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか」との質問で、「週3回以上」と回答した生徒は5.8%で、全国平均を9.2ポイント下回った。ICT機器の活用の充実が学校の重点課題でもあり、今後授業を通して生徒にタブレットの有用性を実感させられるような活動を多く取り入れたり、教職員の研修をさらに充実させたりしていきたい。

宇都宮市立陽西中学校（第3学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・家庭学習の習慣化に向けた工夫	・年度当初に「家庭学習の手引き」を配付する。 ・「自主学習のたね」等自主学習用のワークシートを配備する。 ・保護者と協力した「家庭学習強化週間」（年3回）を実施する。	・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」との質問に「よくしている」と答えた生徒の割合は2割弱だったが、全国平均を1.8ポイント上回った。 ・「学校が休みの日に1日当たりどのくらいの時間勉強しますか」との質問で、「4時間以上」「全くしない」と答えた生徒の割合がともに1割ほどで、学習時間が二極化している傾向にある。
・「分かる授業」の展開 授業力向上	・一人一授業を実施し、校内研修で成果と課題を協議する。 ・一人一台端末の有効活用についての校内研修を行う。	・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」との質問では、肯定的に答えた生徒の割合は全国平均と比べて10ポイント以上下回った。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
・学校で授業中に自分で調べる場面や学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使っている割合は、全国平均・市平均を9～14ポイントほど下回っている。	・ICT機器の活用の充実	・ICT支援員や外部講師などを招いて、教職員のICT活用能力を高めるような研修を行う。また、生徒には、タブレットを使用することで調べ学習の幅が広がったり、協働学習がスムーズに進んだりする活動を様々な教科・場面で体験させる。